

Section
03カードの種類と
振り分け

Keyword ▶▶ カード、記録方法、標準、自動切り換え、振り分け、同一書き込み

1 カードの種類を知る

R5とR6はカードを2枚セットすることができる。R5はSDカードとCFexpressカード、R6はSDカードを使用する。新しいカードをセットする際は、初期化(→P.23)してから使用するようにしよう。



SDカードは、SD/SDHC/SDXCカード、UHS-II、UHS-Iに対応している。容量は大きい方が多く記録できるので安心だが、中容量のものをイベントごとに使用するのも良いだろう。連写や動画を撮るなら、スピードクラスの速いものを用意する。



CFexpressカードはR5で使用できるカードで、SDカードよりも高速なデータの読み書きが可能だ。動画撮影や連写など、撮影データが重い時は、カメラのメモリからカードへの書き込み時間がかかってしまうが、CFexpressカードならその時間が大幅に短縮できる。

R5にカードをセットする



カードスロットカバーをスライドして開け、カードの向きを確認してからカメラの背面側①にCFexpressカード、前面側②にSDカードをセットする。

R6にカードをセットする



カードスロットカバーをスライドして開け、カードの向きを確認してからSDカードを2枚セットする①。

2 カードを2枚入れた時の記録方法の設定をする

カードを1枚だけ入れている時は関係ないが、カードを2枚入れた時は記録先の振り分けをするかどうかを設定する。

| | |
|-------------------|--------------------------------------|
| 📷/🗨️振り分け [する] | 動画はカード①に保存される。 静止画はカード②に保存される。 |
| 📷/🗨️振り分け [しない] | 記録方法(→P.20)と、記録・再生するカードを設定する(→P.21)。 |



[📷/🗨️記録機能とカード・フォルダ選択]を選択する①。



[📷/🗨️振り分け]②を選択する。



[する]③を選択すると、自動的に動画はカード①に、静止画はカード②に保存されるようになる。

Section
04記録画質と
ファイルフォーマット

Keyword ▶▶ 記録画質、JPEG、RAW、DPRAW、初期化

1 記録画質を設定する

記録画質はRAWとJPEGが選択でき、同時に記録することも可能だ。RAWはRAWとCRAWから選ぶことができ、JPEGはL、M、Sから選択できる。JPEGのLとMにはそれぞれ▲と■の画質があり、▲の方が画質が良い。SにはS1、S2、S3があり、S1のみ▲と■が選択できる。



MENUボタンを押し、[CAMERA: 記録画質]①を選択する。

RAWの種類②をメイン電子ダイヤルを回して選び、JPEGの種類③をサブ電子ダイヤル1を回して選択する。

※[CAMERA: 記録機能とカード・フォルダの設定]の設定により、表示画面が異なる場合がある。

ONE-POINT

HEIF画像とは

HEIFは圧縮効率が良く、小さいファイルサイズで高画質に記録できるファイル形式だ。対応しているパソコンに限られるので好みで使い分けたり、後からJPEGに変換したりすると良い。



[HDR PQ 設定]①を[ON]にすると、JPEGの代わりにHEIF②で記録することができる。

2 DPROWを設定する(R5のみ)

DPROW機能を設定して撮影したデータは、カメラ内現像でポートレートライティングや、背景の明瞭度の調整などができる。



MENUボタンを押し、[CAMERA: DPROW設定]①を選択する。

[する]②を選択し、記録画質をRAW/CRAWに設定して撮影する。

3 カードを初期化する

初めて使うカードは初期化してから使用する。ただし、初期化すると全てのデータが消去されるので、必要なデータがないか必ず確認してから行う。



MENUボタンを押し、[CAMERA: カード初期化]①を選択する。

初期化するカードを選択する②。



[OK]③を選択すると、カードが初期化される。

データを完全に消去する時は物理フォーマットを押す④。通常より時間がかかるので注意する。

タッチ&ドラッグAF

Keyword ▶▶ ファインダー撮影、タッチ操作

1 タッチ&ドラッグAFを知る

タッチ&ドラッグAFとは、ファインダーを見ながらモニターをタッチしたりドラッグしたりして、AFフレームを移動させられる機能のことだ。AFフレームはマルチコントローラーでも移動できるが、タッチやドラッグで素早く位置を変更できるのが魅力だ。ライブビュー撮影時と同じように直感的に操作ができる。

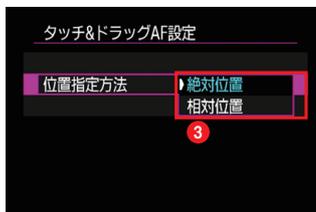
タッチ&ドラッグAFの設定方法



MENUボタンを押し、[AF1：タッチ&ドラッグAF設定] ①を選択する。



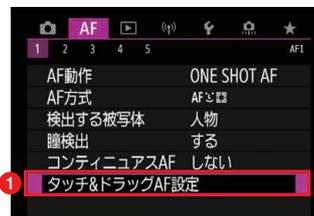
[タッチ&ドラッグAF] から[する]を選択する ②。



[位置指定方法]から任意の設定方法を選ぶ ③。[絶対位置]はモニターに触れた位置にAFフレームが移動する。[相対位置]はドラッグした方向と移動量に応じてAFフレームが移動する。

2 タッチ領域を理解する

タッチ領域とは、タッチ&ドラッグAF設定時にタッチで反応するモニターの領域のこと。カメラを構えた時にモニターにタッチしやすいところを設定すると良い。始めは慣れが必要だが、いくつかのタッチ領域を切り替えて試してみると良いだろう。使い勝手の良いタッチ領域を探して設定しよう。



MENUボタンを押し、[AF1：タッチ&ドラッグAF設定] ①を選択する。



[タッチ領域]を選択し、任意の項目を選択する ②。



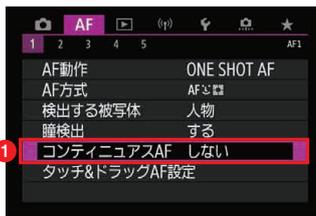
1点AFなどでAFエリアを移動させて撮影する場合、ダイヤルやマルチコントローラーなど移動の方法はいくつかあるが、中でもタッチ&ドラッグAFが便利だ。タッチ&ドラッグAFはファインダーを覗いた状態でモニターを指でなぞり、指の動きに応じてAFエリアを移動できる。カメラの構え方や手の大きさによって使い勝手の良いタッチ領域を探して設定すると良い。

AFのカスタマイズ

Keyword ▶▶▶ コンティニユアスAF、縦位置/横位置のAFフレーム設定、フォーカスガイド、サーボAF 特性

1 コンティニユアスAFを設定する

コンティニユアスAFとは、動く被写体の撮影時に大まかにピントを合わせ続ける機能だ。設定しておくで、動く被写体を追従してしてくれるので、シャッターボタンの半押しで素早くピントが合い、スムーズに撮影することができるようになる。



MENUボタンを押し、[AF1：コンティニユアスAF] ①を選択する。



[する]を選択し、SETボタンを押し決定する②。



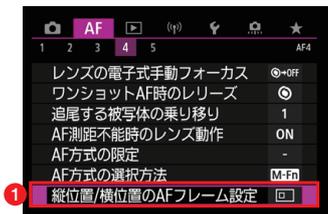
動きのある被写体を撮影する場合、コンティニユアスAFにしておくと撮影がしやすい。コンティニユアスAFに設定しておくで、プールで泳ぐ愛犬にカメラを向けるとカメラがピントを合わせ続けてくれるので、動きを常にファインダーで確認しながら撮れるようになる。

カメラ設定

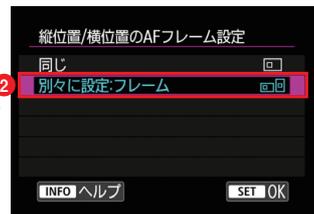
撮影モード Avモード
絞り数値 F2.8
シャッタースピード 1/8000秒
露出補正 +1/3
ISO感度 160
WB オート (雰囲気優先)
カメラ EOS R5
使用レンズ RF70-200mm F2.8 L IS USM
焦点距離 163mm

2 縦位置/横位置のAFフレーム設定

縦位置/横位置のAFフレーム設定とは、縦位置と横位置で別々にAFフレーム(AF方式)を設定できる機能だ。あらかじめ設定しておけば、縦と横を切り替えた時にAFフレームを毎回設定し直すに済むので、構図を早くつくることができる。



MENUボタンを押し、[AF4：縦位置/横位置のAFフレーム設定] ①を選択する。



[別々に設定：フレーム] ②を選択し、SETボタンで決定する。あとは縦位置、横位置でそれぞれAF方式を選択し、AFフレームを好みの位置に設定してシャッターボタンを半押しすれば位置が記憶される。



風景や人物などを撮影する際に、横位置だけでなく縦位置でも撮影する場合がある。カメラの設定で横位置と縦位置のAFフレーム設定を[別々に設定]にしておけば、それぞれで設定したAFフレームの位置をカメラが記憶してくれ、縦位置と横位置でいちいちAFフレームを移動することなく、カメラの縦横の向きを変えるだけで素早くピント合わせして撮影できるので便利だ。

フレキシブルAE撮影 (Fv)

Keyword ▶▶▶ シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度

1 フレキシブルAE撮影を知る

フレキシブルAE撮影とはシャッタースピード、絞り数値、ISO感度をオートか任意設定にして、露出補正と自由に組み合わせて撮影できる撮影モードのことだ。慣れれば、このモード1つでPモード、Tvモード、Avモード、Mモードに相当する撮影ができるので、撮影モードをいちいち切り替える手間が省けるようになる。

R5の設定方法



MODEボタン①を押し、メイン電子ダイヤルを回してFv②を選択する。

R6の設定方法



モードダイヤルを回してFvに合わせる①。



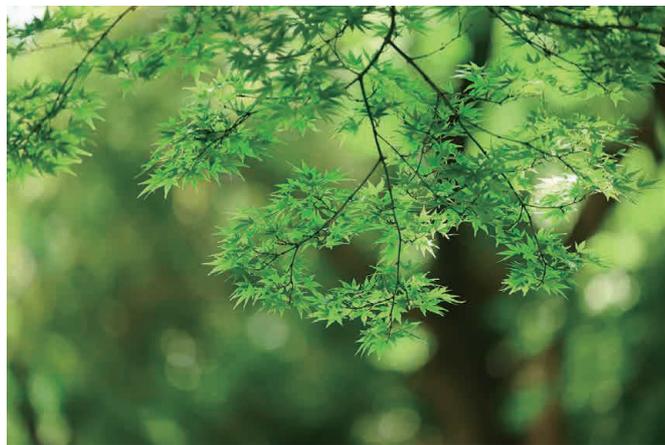
Fvモードで変更できる撮影機能設定は、シャッタースピード①、絞り数値②、露出補正③、ISO感度④だ。サブ電子ダイヤル③を回して設定する項目を選ぶ。選択中の項目には☀️が表示される。メイン電子ダイヤルを回して数値を設定し、☑️ボタンを押すとAUTOに設定される④。

2 シーンに合わせて機能を組み合わせる

R5とR6にはさまざまな撮影モードがあるが、Fvモードに慣れてしまえばシーンごとに撮影モードを変更しなくても被写体に合わせて設定を変更して撮影できるので、とっさのシャッターチャンスにも対応できるようになる。



Fvモードではモードを切り替えなくても絞り数値やシャッタースピードのコントロールがシームレスに行え、被写体の状況に合わせて素早く設定して撮影することができる。左の写真は風で揺れる葉をぶらすためにシャッタースピードをスローシャッターにして動感を表現した。



上の写真の同じく新緑の風景を撮影。逆光で輝く葉が印象的だったので、Avモードのように絞り数値を開放近くを設定し、ぼけを意識して撮影した。

暗所撮影

Keyword ▶▶▶ 暗所撮影、多重露出

1 暗所撮影に強いR5/R6

R5の低輝度合焦限界はEV-6、R6ではEV6.5を達成し、R5もR6も暗所撮影に強くなっている。肉眼では被写体をしっかり確認できないような暗いシーンでも、高精細な電子ビューファインダーとの相乗効果で被写体を捉えながらAF撮影ができる。



照明が少ない、薄暗い室内でポートレートを撮影した。かなり暗い室内だったが、ISO感度をそこまで上げなくても手持ち撮影でブレずに撮影できた。R5、R6共に暗い場所でのピント合わせはとても優秀なので、明るさを気にすることなく暗い室内や星空の明るい星にもAFで難なくピントを合わせてくれる。

| | | | | | | |
|-------|-------|--------------------------|-------|------|-----------|--------|
| カメラ設定 | 撮影モード | Avモード | 絞り数値 | F1.8 | シャッタースピード | 1/180秒 |
| | 露出補正 | +1 | ISO感度 | 1600 | WB | 太陽光 |
| | カメラ | EOS R5 | | 焦点距離 | 35mm | |
| | 使用レンズ | RF35mm F1.8 MACRO IS STM | | | | |

2 明るく撮影する

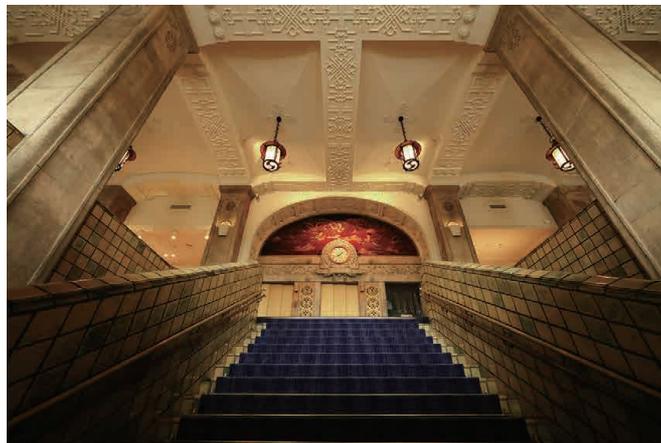
R5とR6の低輝度合焦限界では、R5がEV-6、R6がEV-6.5と少しだけR6の方が暗所撮影に強くなっている。かんたんに暗所撮影ができるのが魅力だが、その機能を最大限に生かすのであれば、開放絞り数値の明るいレンズを装着しよう。また、カメラに取り込まれる光は画面の中央部分が一番多いので、暗い場所でのピント合わせは中央にAFフレームをおくと良い。

開放絞り数値の明るいレンズを使用する



RF 35mm F1.8 MACRO IS STMや、RF 50mm F1.8 STMなど、開放絞り数値の明るいレンズを使用すると良い。

ワンショットAFに設定する



カメラに取り込まれる光は画面の中央部分が一番多いため、ワンショットAFでAFフレームを画面中央に設定すると、AFフレームを画面端に設定した時よりわずかがだか明るく撮影できる。

マクロレンズ・
単焦点レンズ

Keyword ▶▶ マクロレンズ、単焦点レンズ

1 RF100mm F2.8 L MACRO IS USMで撮る

マクロレンズは中望遠の100mmマクロが代表的といって良いだろう。被写体との撮影距離も適度に確保でき、またピントを合わせた場所はシャープでありながら柔らかなぼけ味を楽しむことができる。近接撮影能力が高まり、ぼけの描写をコントロールできる「SAコントロールリング」を搭載しているのも大きな特徴だ。



肉眼をはるかに超えた世界をクローズアップできる

RF100mm F2.8 L MACRO IS USMは最大撮影倍率が1.4倍となり、EF100mm F2.8 L MACRO IS USMより倍率が上がった。さらにぼけ味をコントロールできる、SAコントロールが搭載された。花撮影などには欠かすことのできない一本だ。

| | | | | | | |
|-------|-------|-----------------------------|-------|------|-----------|---------|
| カメラ設定 | 撮影モード | Avモード | 絞り数値 | F2.8 | シャッタースピード | 1/1000秒 |
| | 露出補正 | +2 | ISO感度 | 800 | WB | 太陽光 |
| | カメラ | EOS R5 | | | 焦点距離 | 100mm |
| | 使用レンズ | RF100mm F2.8 L MACRO IS USM | | | | |

2 広角で接写できる 35mm マクロ

広角でありながらマクロ撮影が楽しめるのがRF35mm F1.8 MACRO IS USMだ。0.5倍までのハーフマクロ撮影が行え、またF1.8と明るいのも特徴といえる。35mmマクロはワイドマクロ撮影が行え、周囲の情景を入れながら接写できるため100mmマクロとはまた違った雰囲気になるのが面白い。



カメラ設定

撮影モード Avモード
絞り数値 F1.8
シャッタースピード 1/1600秒
露出補正 +2/3
ISO感度 200
WB 太陽光
カメラ EOS R5
使用レンズ RF35mm F1.8
MACRO IS STM
焦点距離 35mm

3 低価格な超広角単焦点レンズ

数あるRFレンズの中でも個性的で人気のあるのがRF16mm F2.8 STMだ。超広角での撮影を楽しむのなら広角ズームが一般的だが、価格はそれなりにする。安価なため気軽に超広角撮影が楽しめるのがRF16mmで、大きさやスタイルはRF50mm F1.8 STMとほとんど変わらない。小型軽量なレンズでF2.8と明るく、16mmの超広角で強烈な遠近感を味わえる。



カメラ設定

撮影モード Avモード
絞り数値 F8
シャッタースピード 1/160秒
露出補正 +2
ISO感度 800
WB 太陽光
カメラ EOS R5
使用レンズ RF16mm F2.8
STM
焦点距離 16mm

モニター/ファインダーの カスタマイズ

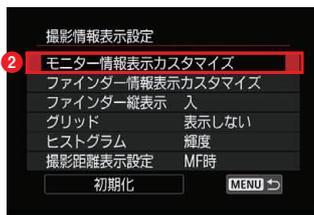
Keyword ▶▶▶ 情報表示、撮影画面表示設定

1 情報表示を整理して見やすくする

ファインダーやモニターには撮影時にさまざまな情報を表示できるが、表示が多すぎて肝心の被写体が見づらくなってしまうことがある。そのような場合、必要な表示切り替えだけを残したり、また表示する情報を減らしてスッキリと見やすくしたりすることができる。数種類ある表示レイアウトの中から選択でき、さらに項目ごとに表示、非表示の設定が行えるので、好みに応じてカスタマイズすると良い。



MENUボタンを押し、[📷7：撮影情報表示設定] ①を選択する。



[モニター情報表示カスタマイズ] ②を選択する。



撮影待機中に、INFOボタンで表示を切り替えられるレイアウトにチェックがついているので、必要なものだけチェックを残し③、不要なものはチェックを外す。



また、INFOボタンを押すと表示させる項目を選択することができる④。設定が完了したら[OK] ⑤を選択し、設定を完了させる。



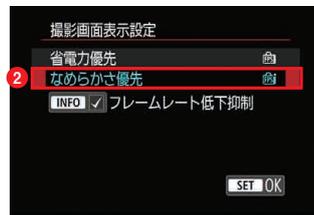
モニターやファインダーの情報表示に必要なものだけに限定することで、被写体をより確認しやすくなる。ヒストグラムなどは撮影時に必要なければ表示しないようにすると良い。

2 被写体の動きを見やすくする

動く被写体を撮影する際に設定した方が良いのが[撮影画面表示設定]だ。[省電力優先]と[なめらかさ優先]があり、[なめらかさ優先]にしておくとも被写体の動きがなめらかに見え撮影しやすい。ただし、[省電力優先]に比べるとバッテリーの消耗はやや多くなるので、予備のバッテリーがあると安心だ。



MENUボタンを押し、[📷8：撮影画面表示設定] ①を選択する。



[なめらかさ優先] ②を選択し、SETボタンを押して決定する。

▶ ONE-POINT

グリッドを表示する

R5、R6はファインダーやモニターにグリッドを表示することができる。グリッドを表示すると三分割構図などの指標になったり、被写体の配置のバランスが取りやすくなるので、用途に合わせて[撮影情報表示設定]の[グリッド]から設定すると良い。



ファームウェア アップデート

Keyword ▶▶ ファームウェア

1 アップデートの準備を確認する

CanonのHPで新しいファームウェアが公開されたらダウンロードし、アップデートする。アップデートはカードリーダーを使用する方法と、EOS Utilityを使用する方法の2つがある。



R5 : <https://cweb.canon.jp/driv-upd/eosd/eosr5-firm.html>

R6 : <https://cweb.canon.jp/driv-upd/eosd/eosr6-firm.html>

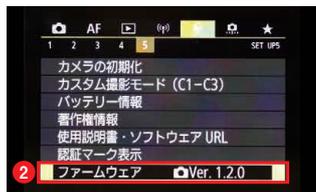
新しいファームウェアが公開されていたらアップデートする。アップデート中にカメラの電源が切れると故障する可能性があるためバッテリーはフル充電し、アップデート中はカメラを操作しないよう注意する。

2 カードを使用してアップデートする

カードを使用してファームウェアをアップデートする場合、カードをカメラで初期化する必要がある。残しておきたい画像などがあると消えてしまうので、バックアップを取ったり、新しいカードを用意したりすると良い。



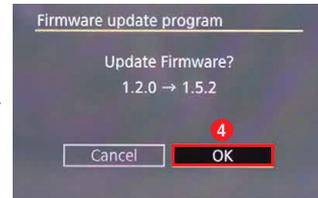
カメラでカードを初期化する(→P.23)。カードをパソコンに挿入し、CanonのHPからダウンロードしたファームウェアをカードにコピーする①。



カードをカメラに挿入したら電源を入れ、撮影モードをPに設定する。MENUボタンを押し[\langle q \rangle]6 : ファームウェア]②を選択する。



ファームウェアのアップデート画面になるので、[OK]を選択し、更新するファームウェアを確認して③、SETボタンを押す。



画面を確認して[OK]④を選択し、SETボタンを押すとファームウェアのアップデートが開始される。アップデート中はカメラに触らない。アップデートが完了したらSETボタンを押して完了する。

3 EOS Utilityを使用してアップデートする

パソコンとの接続(→P.170)で使ったEOS Utilityを使ってアップデートすることもできる。



撮影モードをPに設定し、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する①。



EOS Utilityを起動し、[カメラの設定]②をクリックする。



[ファームウェアアップデート]③をクリックする。そのあとは[次へ]、[次へ]をクリックする。



ドライバの保存先を[参照]④で指定し、そのあと[次へ]⑤、[OK]をクリックすると、カメラがアップデートの確認画面になり、カードリーダーでのアップデートと同様に操作する。

※ファームウェアアップデート中にエラーが発生した際は、バッテリーを抜いて中断する。

メニュー画面一覧

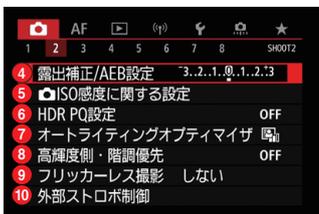
MENUボタンを押すとメニュー一覧が表示される。サブ電子ダイヤルでメインタブを、メイン電子ダイヤルを回してサブタブを、サブ電子ダイヤル1を回して項目を選択する。ここではR5のメニュー画面をもとに解説し、R6にしかない項目はR6のメニュー画面を紹介する。

カメラ 1



- 記録画質**
記録する画像の画質と画素数を設定することができる。
- DPRAW設定 (R5のみ)**
記録する画像の画質と画素数を設定することができる。
- 静止画クロップ/アスペクト**
1.6倍の範囲を撮影できるクロップや、写真のアスペクト([1:1] [4:3] [16:9])を変更できる。
- 露出補正/AEB設定**
±5段の露出補正や明るさの異なる3枚の画像を撮影するAEB撮影の設定をすることができる。
- ISO感度に関する設定**
ISO感度の設定やオート設定時のISO感度の許容範囲など、ISO感度に関する設定を変更できる。
- HDR PQ設定**
PQ規格のHDR撮影をするか設定する。
- オートライティング最適マイザ**
オートライティング最適マイザについて[しない] [弱め] [標準] [強め]の4つから選択することができる。
- 高輝度側・階調優先**
画像のハイライト部の白とびを抑える機能について設定できる。
- フリッカーレス撮影**
蛍光灯などの光源下で撮影した際に発生するちらつき(フリッカー)により画像に露出差や色合いの差が出てしまうのを防ぐため、カメラが光源の点滅周期を検知してフリッカーの影響が少ないタイミングで撮影するフリッカーレス撮影に関する設定ができる。
- 外部ストロボ制御**
ストロボを使用した際の調光補正やFEロックについて設定することができる。

カメラ 2



カメラ 3



- ホワイトバランス**
ホワイトバランスの設定をすることができる。
- MWB画像選択**
マニュアルホワイトバランスを設定する画像を選択できる。
- WB補正/BKT設定**
ホワイトバランスの微調整と1回の撮影で異なる色味を撮影するホワイトバランスBKTの設定ができる。
- 色空間**
再現可能な色の範囲をさす色空間を[sRGB] [Adobe RGB]から選択することができる。通常は[sRGB]を選択しておくことが望ましい。
- ピクチャースタイル**
ピクチャースタイルの選択と設定の変更ができる。
- 明瞭度**
画像の輪郭部分のコントラストを調整できる。
- レンズ光学補正**
レンズ光学の特性によって起こる周辺光量補正や色収差補正、歪曲収差、回折現象の補正に関する設定を行える。
- 長秒時露光のノイズ低減**
1秒以上のシャッタースピードで撮影する際に画像のノイズを抑えることができる。
- 高感度撮影時のノイズ低減**
高感度撮影時のノイズを抑える機能について[弱め] [標準] [強め] [マルチショットノイズ低減機能]から選択できる。
- ダストデリートデータ取得**
セルフクリーニングで除去できなかったイメージセンサーに付着したゴミの情報を画像に付加する機能について設定できる。

カメラ 4

